

社会学部報

昭和36年

◇9月27日 学部研究会 発表者 張講師

「大衆文化と高級文化の統合的把握」 遠藤助手「リーダーシップ研究の若干の問題点について」

◇10月14日 社会学部・理学部開部披露を、学生会館ホールおよび学部校舎で行なった。

◇10月19日 パリ大学教授G・バランディエ氏の講演会「経済発展における伝統的社会と社会的勢力」を学部首催で行なった。

◇11月2日 学院記念祭第1日行事として、学部開設記

念資料展示会を催した。

◇11月15日 学部研究会 発表者 杉山講師

「工学心理学的観点よりみた所謂視覚疲労の扱いについて」

◇11月25日 開設1周年記念学術講演会を、神戸KCCホールで開催した。

講演者 学部長大道教授「人口革命の波紋」 竹内教授「都市再生と住民参加」

◇12月2日 上記と同じ講演者および演題で、学術講演会を大阪ABCホールで開催した。

学 界 消 息

◇日本社会福祉学会

9月1日、2日の両日、第9回学会大会及び総会が札幌の北海道大学及び北海道学芸大学において開催された。本学部竹内愛二教授と太田義弘助手が「集団住宅と専門社会事業」と題して研究発表を行なった。

◇国際経済学会

10月4日、5日の両日、富山大学において第20回大会を開催、国際通貨問題その他について活潑な討論が重ねられた。本学部丹羽春喜講師が慶応大学加藤助教授と共同で「東欧諸国の経済協力」と題して研究報告を行なった。

◇理論・計量経済学会

10月7日、8日の両日、早稲田大学において本年度大会が開催され、主としてエコノメトリックス関係の研究報告を中心に活潑な議論がなされた。本学部丹羽講師が「ソ連小売物価指数と実質賃金指数の推計」と題して研究報告を行なった。

◇日本都市社会学会

10月9日、富山市公会堂で行なわれ、本学部大道安次郎教授が出席した。

◇日本社会学会

10月14日、15日の両日、京都大学において開催。本学部万成博助教授が「ホワイト・カラーの仕事における満足」(大学院学生佐原福嶺と共同)、および「日本の工業化と指導層の変遷(1880—1960)」のテーマで二つの報告を行なった。なお、今年のシンポジウムは「都市化の理論」と「社会運動」であった。

◇日本時事英語学会

10月21日、22日の両日、第2回年次大会が本学部で開催された。本学部から栃原、西尾両助教授および半田講師

が出席した。

◇日本社会心理学会

10月12日、13日の両日、第2回大会が国際基督教大学で行なわれた。本学部田中国夫助教授が出席、「神戸市民の政治意識について」の題目で研究発表した。

◇日本基督教社会福祉学会

10月25日、第2回研究大会及び総会が、東京世田谷のバット博士記念センターで開催された。「基督教社会福祉事業と地域社会」と題して、パネル討論が行なわれた。

◇日本ソーシャル・ワーカー協会

10月28日、第2回総会が東京の日本社会事業大学にて開催された。「社会事業の専門教育に何を期待するか」と題してパネル討論が行なわれた。

◇村落社会学会

11月18日、19日の両日、東京学芸大学世田谷分校で第9回大会が開かれた。今年の共同課題は「農政と農民の組織化—資本主義の形成と発展における農民の対応として—」で、個別発表に続いて共同討論が行なわれ、余田博通教授、倉田和四生講師が出席した。なお、村研究年報第8集「農政の方向と村落社会」が時潮社から出版された。

◇近畿都市学会

11月11日、本学部で開催され、各方面からの都市問題についての研究発表が行なわれた。本学部からは大道教授が出席した。

◇日本老年学会

11月18日、19日の両日、東京都市センターホテルで行なわれ、本学部からは大道教授が出席し、シンポジウム「老人の職業と自由時間に、主として老人の自由時間について」の発表を行なった。